

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる。

【学校 目標】

○「皇子山中学校・校区」を愛し、校区の次代を担う生徒の育成

【現状と課題】

○視点1 学習に対して受け身な生徒が多く、自分の考えを伝える力、学習した知識や技能を活用する力に課題がある。
 ○視点2 粘り強く取り組むことや自己肯定感の低さに課題があり、生徒同士の適切なつながりがあまり持てていない。
 ○視点3 地域とともにある学校をつくるため、学校・家庭・地域が 共通理解のもと、ひとつになって様々な取り組みを行っていく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①学び合いを校内研究の軸に置き、生徒同士が互いにきき合う関係性を育むとともに、教職員全体の授業力向上に努める。	①学校評価アンケート(生徒)項目1:「授業にしっかり取り組んでいる。」評価点0.85以上	B	A
	①学校評価アンケート(教師)項目1:「主体的・対話的で深い学びのある授業を進めている。」評価点0.80以上	B	B
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①自他を互いに認め合う学級集団を構築するために、計画的に学級会を実施する。	①学校評価アンケート(生徒)項目7:「生徒同士お互いを認め合って生活できていると思う。」評価点0.85以上	B	A
	①学校評価アンケート(教師)項目11:「互いを高め合う集団(学級)づくりに取り組んでいる。」評価点0.80以上	B	B
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研修やOJT研修を計画的に実施し、「共通理解・共通実践」を進める。	①学校評価アンケート(教師)項目16:「教職員研修に参加し、役立っていると思う。」0.80以上	B	B
	①校内研修、OJT研修で学ぶとともに、教員同士の学び合いを活発化させ、授業や学級経営、生徒指導の改善を図ることができる。	A	A

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・4月の職員会議において校長が教育目標や学校経営等について伝える機会にあわせて、学ぶ力向上推進リーダーと研究主任が協力して「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりやホームページ等で保護者や地域に発信する。

・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任、視点2については特活主任、視点3についてはコミュニティスクール担当やOJT研修担当が中心となって、組織的に実践につなげる。

・定例職員会議では、取組の状況等を共有し、全国学力・学習状況調査等の結果や、11月～12月の学校評価における数値や意見等をもとに、改善策について校内研究推進委員会、OJTグループ、教科部会等でまとめ、12月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりやホームページ等で保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題

校内研究として学び合いを軸に研究授業を各学期に1度行い、講師の方から指導助言をいただきながら、職員全体で授業改善を図ることができた。また、OJTとして教員同士でペアを組み、必要な時に相談できる体制を整えることができた。来年度も引き続き学び合いを続け、「共通理解・共通実践」になるように目指す方向を同じにして、全職員で取り組めるようにしていきたい。また、OJTに関しても教師同士の学び合いが活発にできるような体制づくりを進めていきたい。